

海岸防潮堤等整備に関する市民説明会及び意見交換会  
(野々下～赤牛漁港)

■日時 平成24年7月17日(火)18:30～

■参加者 約 140 名

■主な意見

※ 気仙沼土木事務所が管理する海岸及び河川へは次のような意見が出されました。

- ・各地域海岸をさらに細分化し、地域毎に最適な高さを設定して欲しい。  
→県沿岸を 22 の地域海岸に分割し、地域海岸毎に必要な高さを設定しています。
- ・最大クラスの津波(L2)についてはどのように対応するのか。  
→L1 堤防の整備だけでなく、情報周知や避難施設整備等のソフト面を強化し対応します。
- ・大谷海岸を早く復旧して欲しい。  
→関係機関との調整の上、人工リーフ等の配置を検討します。
- ・沖ノ田海岸の磯場をはじめ、既存の自然環境に配慮した計画を立てて欲しい。  
→地元漁協等との調整の上、磯場の保全に配慮した計画を検討します。

※ 他の海岸管理者等に対しては次のような意見が出されました。

- ・9.8m の防潮堤は生活に弊害が出る高さである。
- ・大きい堤防を設置すると津波が見えず危ない。
- ・大谷海岸の堤防の位置を国道 45 号線付近までバックさせて欲しい。
- ・防潮堤以外に対策はないのか。
- ・堤防だけではなく、避難施設及び避難路の整備等を優先して行うべき。
- ・沖ノ田海岸の磯場を潰さないでほしい。
- ・大谷海岸を海水浴場として回復させて欲しい。
- ・生活や仕事のこと避難路のことも考えて工事を進めて欲しい。

